

さくらだより 2026 春号



節分

今年も一年間健康に過ごせるようにと願いを込めて、悪いものを追い出す行事と言われております。

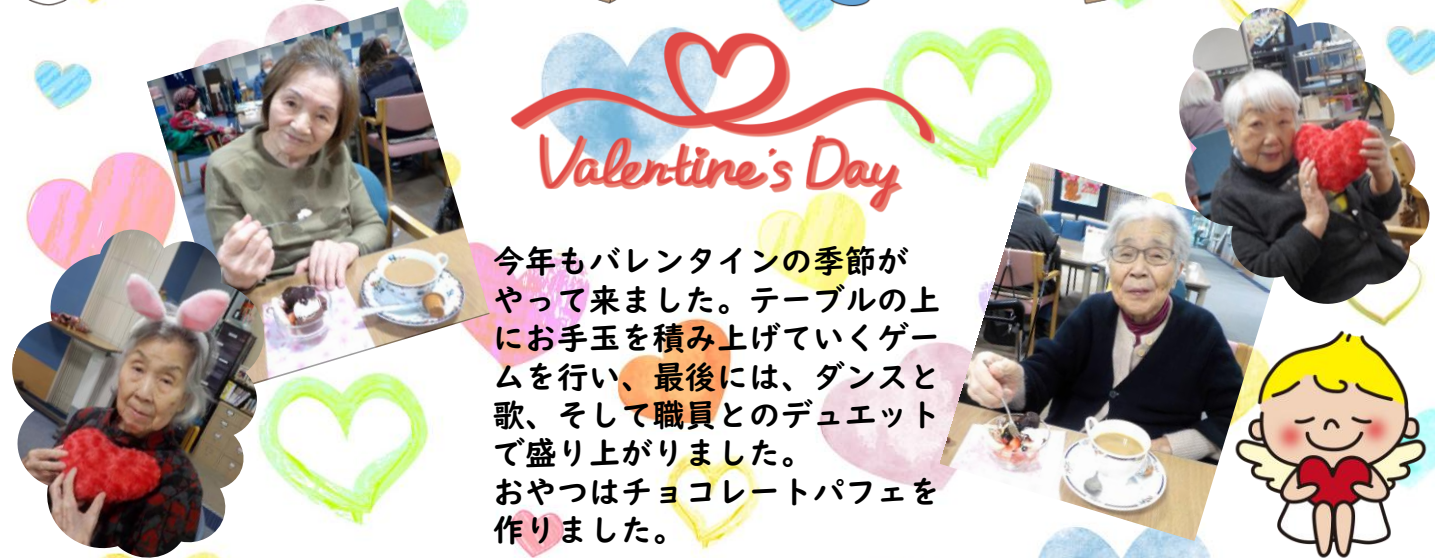
福豆の代わりにお手玉を使い鬼は外、福は内と豆まきを行いました。お昼ご飯には利用者さんと一緒においなりさんを作り食べました。




Valentine's Day

今年もバレンタインの季節がやって来ました。テーブルの上にお手玉を積み上げていくゲームを行い、最後には、ダンスと歌、そして職員とのデュエットで盛り上がりました。

おやつはチョコレートパフェを作りました。




ひなまつり

今年の雛祭りではお雛様とお内裏様をカップに貼り付けて、割り箸を使い隣の人に渡すゲームを2チームに分かれて行いました。利用者さんの笑顔が溢れる位の盛り上がりでした。

関東と関西では雛人形の飾り方がちがうようですね？関東では向かって左側にお内裏様で右側がお雛様で、関西の一部の地域は逆だそうですよ。



「100万年の幸せインタビュー」

— 海を越えて、青葉台さくら苑で働く仲間たち —

いま、青葉台さくら苑ではベトナム、ミャンマー出身の職員の皆さんと一緒に働いています。

今回は、母国を離れて日本で頑張っている皆さんにお話を聞きました。

Q：どちらから来ましたか？

「ベトナム北部の町からです」

「ベトナムの首都ハノイです」

「ベトナムのナムディンです」

「ベトナムのダクラク省から来ました」

「ミャンマーのシャン州、アリアウソパンという町から来ました」

「ミャンマーのシャン州南部、タウンジーからです」

遠い国から日本へ来てくださいました。ようこそ日本へ。



Q：日本に来るとき、不安だったことはありましたか？

「言葉のことが一番不安でした」

「言葉や文化の違いが心配でした」

また、体調を崩したときのことを心配して、風邪薬や解熱剤を持ってきたという方もいました。

慣れない国での生活には、やはり不安も大きかったようです。

Q：お国の自慢を教えてください

「自然がきれいなこと、食べ物がおいしいこと、家族を大切にすることです」

「人が親切なところですよ」

「人々の強さと努力する姿勢です。困難があっても前向きに頑張るところが素晴らしいと思います」

「古い文化や遺産、豊かな自然、多様な民族、伝統的なお祭りです」

それぞれの国の魅力が伝わってきます。



Q：ホームシックになりますか？

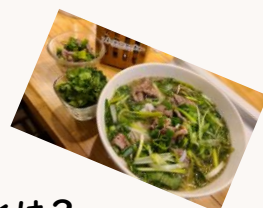
「時々あります。家族と電話をしたり、友達と話したりして気持ちを落ち着かせています」

「最初はさみしかったです」

「家族とテレビ電話で話しています」

「毎日電話をして、だんだん慣れてきました」

家族との連絡が、大きな支えになっているようです。



Q：「ありがとう」は何と言いますか？

ベトナム語

「カムオン (Cám ơn)」

ミャンマー語

「チェーズーティンバーテ」

皆さんもぜひ覚えてみてください。

Q：日本でびっくりしたことは？

・年配の方も元気に働いていること

・電車が時間通りに来ること

・ゴミの分別が細かいこと

・冬が思ったより寒いこと

・街がとてもきれいなこと

日本の生活には驚きも多かったようです。

Q：母国の好きな料理は？

「フォーやバインミが好きです」

「ブンチャーです」

「シャウカウスエとヒントウです」

母国の味に近いお店は、高田馬場や大塚にあるそうです。



Q：日本の好きな食べ物は？

「お寿司とラーメンが好きです」

「唐揚げです」

「たこ焼きです」

日本の食べ物もすっかりお気に入りのようです。

Q：日本で楽しいことはありますか？

「買い物に行ったり、旅行に行ったりすることです」

「休日に友達と出かける時間が最高です」

「新しいことを学びながら働けることが一番楽しいです」



Q：介護の仕事はどうですか？

「家族の体調が悪いときに世話をしてきました。自分にもできると思います」

「大変ですが、とてもやりがいがあります」

「自分にとって良い経験になっています」

「大変です」

また、こんな言葉もありました。

「大変なこともあります、やりがいのある仕事だと思います。人として成長できる仕事だと感じています。ご利用者から感謝の言葉をいただくと、頑張ってたかったと思います」

さらに、

「いつか家族を日本に呼びたいです。子どもは8歳です」

と話してくれた方もいました。

家族と一緒に暮らせる日が来るといいですね。

Q：これからも働いていけそうですか？

「はい、できると思います」

「続けていけそうです」

「これからも日本で頑張りたいと思います」

「日本語を勉強中ですが、長く働けるよう努力します」

母国を離れ、日本で一生懸命頑張っている皆さん。

日本語や介護の勉強も続けながら、日々成長しています。

私たちも、

「日本に来てよかった」

「青葉台さくら苑で働いてよかった」

そう思ってもらえる場所でありたいと思います。



ご家族の皆さまも、面会の際にはぜひ声をかけてみてください。

ベトナム語で「カムオン」、ミャンマー語で「チェズーティンバーテ」。

きっと笑顔が広がると思います。

いろいろな国の人が集まることで、私たちの世界は少し広がります。

毎日大変なこともあります、みんなで乗り越えていきたいですね。

世界はまだまだ平和とは言えません。

それでも、平和が訪れることを願っています。

ふと、「ちびまる子ちゃん」の昔のエンディングテーマの歌詞が思い浮かびました。

「せめて100万年ほど幸せでいようよ」

「100万年ほどは幸せになろうよ」



新人紹介



よろしくね

イ カイン サン
 入社日：令和8年1月1日
 職 種：介護職
 趣 味：歌を歌うこと、旅行
 一 言：自分に足りないことがあるのであきらめないでがんばります。こうれいしゃのためにいっしょけんめいがんばります。

テウザー 又工
 入社日：令和8年1月1日
 職 種：介護職
 趣 味：歌を聞くこと、ハイキング
 一 言：わからないことがたくさんありますがいっしょけんめいがんばりますのでいろいろなことをおしえてもらいたいです。

こちらの2人はミャンマー出身の技能実習生です。日本語も介護も勉強中です。どうぞよろしくお願いいたします!!

生産性向上委員会では、職員アンケートの結果を受け、1階サービス横の談話スペースにオフィスコンビニ「ココニモ」を設置しました。

ココニモ

TEA TALK

赤字続きのホテルが、新しい支配人のもとで生まれ変わる——。

名古屋駅前に実在したホテルを題材にした映画「日本一幸せな従業員をつくる」を見たことがあります。

その数年後、青葉台さくら苑に田中理事長が来られたとき、私はふと「青葉台さくら苑も変わっていくのでは」と感じました。映画の中の「誰もが働きやすい職場をつくる」「一人ひとりの良いところを大切にする」という思いが、現実と重なるように思えたのです。青葉台さくら苑は長いトンネルを抜け、少しずつ元気を取り戻してきました。支えてくださった皆さまに心から感謝いたします。これからも利用者さんやセラピー犬れんちゃんと触れ合いながら、うれしいことや楽しいことを見つけ、「日本一幸せな従業員」を目指していきたいと思ひます。

もちつき大会



菅刈住区住民会議の餅つき大会に参加させていただきました 🌈

目黒川クリーンアップ大作戦

目黒川クリーンアップ大作戦に参加し、目黒川の清掃活動を行いました 🌿



煙体験

地域連携防災訓練

目黒消防署と目黒警察署の方をお招きし、地域の皆さまと一緒に災害訓練を実施しました。



消化器訓練

福祉車両

公益財団法人JKAの機械振興補助事業公益事業振興補助事業の交付金を受け、福祉車両を購入しました。



編集後記

副編集長 片桐恵子



今月号はいかがでしたでしょうか。今回は外国人職員へのインタビューを特集し、それぞれの国の文化や日本での生活について紹介してもらいました。身近な職員でも知らないことがたくさんあり、ちょっとした世界旅行気分になった方もいるかもしれません。これから温かくなり、春の行事もおこないます。次号ではどんな笑顔が登場するのか…どうぞお楽しみに!